

治験会社ランキングの 見方と選び方

ランキングの数字に振り回されず、CRO・SMOの違いと公開データから自分に合う治験会社を見極めます。

こんがらがる...!



CROとSMO、両方出てきて
頭がごちゃごちゃです...!

ふふっ♪



“誰を支援する会社か”で分けられ
ば、すっきり見えるわよ

- 治験会社は2つの業態に分かれる

CRO（開発業務受託機関）



製薬企業側を支援。CRA（臨床開発モニター）が所属

SMO（治験施設支援機関）



医療機関側を支援。CRC（治験コーディネーター）が所属

注意



「治験会社ランキング」が指す対象は文脈で変わる。まずCRO・SMO・製薬企業のどれかを確認する

CRA志望ならCRO側、
CRC志望ならSMO側を
見るのよ



● ランキングは根拠の指標で読み解く

1 売上規模
有価証券報告書・IR資料で公式に確認

2 施設数・実績・領域
CRC/CRA人数や提携施設、得意疾患も軸に

3 口コミ評判ランキング
匿名集計は根拠が弱く、中心には置かない

つい口コミから見ちゃってました…反省です



- 業界全体の規模感をつかむ



CRO業界の総売上高

約2,300億円（2024年実績・会員28社対象）



SMO事業の売上高

約502億円（2025年・会員23社対象）



CRCの人数

日本SMO協会データ2025では、CRCは約**3,369人**
（院内CRCは含まない）

全体像から入るのが正しい順番。個社の位置づけが立体的に見えてくるわ



- 規模より「自分に合うか」で絞る



エリア・体制

CRCは担当施設で働く。通える施設と教育・支援体制



年収は粒度をそろえる

会社全体の平均と職種別の相場を混同しない



元職種を活かす

看護師・薬剤師などの経験がCRCの土台に



まず職種を決め、その職種が所属する業態のなかで会社を比較する

そこが肝心！



• まとめ | 規模と適性の両面で見ると

✓ CRO＝製薬企業側でCRA所属、SMO＝医療機関側でCRC所属

✓ 順位は有報・IR・業界団体の公開データを根拠に読む

✓ 最後は自分の職種と適性に合うかで絞り込む

ランキングの数字は出発点。まずは信頼できる公開データから、自分に合う治験会社の情報を集めていきましょう。

